

みぞくちミニ新聞

発行元
みぞくち

購読無料
毎月発行

楽しい一日だった!?

令和初の日帰り旅行

1組目

10月18日、令和最初の日帰り旅行。1組目は兵庫県淡路島の「淡路ファームパーク・イングランドの丘」に旅立った。お楽しみは動物とのふれあい、そして豪華な昼食。ご家族の方はなんと買物。

お天気はあいにくの曇り時々雨。だったが、強運の持ち主が同席したのだから、日中は概ね雨は無く、帰路のバスで居眠りしている際に降ったようだ。

さあ、いつものように帰ってきた皆さんに旅行のインタビュー。皆楽しかったと教えてくれたが、疲れもあったのか早々に帰宅され

た。

さて、帰所のバス到着を待っていた時の話。所長は傘を持って、日野浦さんは赤い雨がっぱを着て到着を待っていた。予定時刻を過ぎてもなかなか帰ってこない。ちよつと心配もよぎったころバス到着。特に何もなかったようで一安心。ただ、帰路のバス休憩の後に職員がトイレに行きたくなり、少々時間をオーバーした模様。「出るものは仕方がないが予めの行動が必要」と所長に諭される。

2組目

10月25日、2組目の日帰り旅行は、広島県三原市の八天堂でパン作り体験。こ

れまた変わった趣向である。なかなかパン作りの体験など出来るものではない。所長は留守番だったので、その様子を写真で伺った。多くの人はパンに何かしらの顔を描いている。何かしら顔なので、何かは当人に聞かないとわからない。でも熱心に且つ楽しそうなお餅の販売で出店。所長はそのパンはどうしたのだろう、おうちで美味しく頂いただろうか。

3組目

3組目は11月に一泊旅行が控えている。今年が京都方面。どんな楽しみが待ち受けているだろう。次回の新聞に乞うご期待。

啓発活動

ゆうあい福祉展

10月22日、「即位礼聖殿の義」のため、みぞくちはお休み。その日は、岡山県知的障害者福祉協会主催の「ゆうあい福祉展」が、昨

年の被災地であった真備町マザービルふれあいセンター駐車場にて開催された。これは、障害者福祉の啓発として取り組んでいる活動であり、今年「真備町の方々の元気の一助になれば」とこの地で開催した。

県内の福祉事業所の十数事業所が集い、普段販売しているお菓子や花苗、小物、陶器などを販売。みぞくちはお餅の販売で出店。所長

も超早朝からあんもち・つきたてもちの製造に加わり、準備万端。10時の開催を迎え、お客さんも次第に増えてきた。就労のモチ製造担当の二人の利用者さんも売り子として参加した。

その日は台風一過、晴天で最近では珍しい暑さ、そして時折の突風。テントが飛ばない様に抑えながら、「ヒメノモチのあんもちいかがですか!」と軽快に声を掛ける。暑い中だが物珍しさもあつたのか完売。14時の終了を迎えた。

みぞくち実地指導

10月16日、みぞくちの実地指導が行われた。実地指導とは、県の担当者が事業所へ出向き、事業運営(日々の支援や報酬の請求等)が法令に則って適正に行われているか確認するもの。概ね3年に一度実施され

る。みぞくちは開所以来3回目の実地指導を迎える。数週間前から必要な書類をまとめ対応をした。今回は2時間半ほどでその全てを終了。概ね良好との好評を頂いた。所長としては支援にゴールは無いと考える。まだまだ頑張りたい。